

「5 分 前」

終戦の年、5 か月ばかりを海軍経理学校生徒として生活を送った。年令からすると、今の高校2年生である。僅かの期間であったが、新入生(3号生徒)は最上級生(1号生徒)から二百数十発の拳骨と共に、娑婆気を抜くため徹底して鍛えられたものであった。

海軍には「5 分前」という「掟」があった。何事をするにも、5 分前に準備を完了させておけということである。この5 分前で最も印象深いのは起床前であった。我々3号生徒が、訓練と1号生徒のシゴキでくたびれ果てて眠っている時、週番生徒(1号)が「ピッ(笛)、総員起し5分前ノ」とドスの効いた低音で廊下を巡回してゆく。ハッと目を覚し、起床ラッパと共に飛び起きるべく、服を着、整頓する手順を頭に描きつつ、ベッドの中でモソモソと準備したものであった。時移り、頭髮に変化を増すにつれ、思い出は美化され、同期生相集う機会も増えてきたようである。

農薬の安全性、環境への影響が世間から批判の対象とされてきて久しい。この中には、科学的に納得しかねる中味のものが多々あるが、問題提起される前に、メーカーが科学的に解明し、答えを出してあれば、誤解を生むことも少なく済むはずである。世間の批判が出されてからの対応は、そのエネルギー消費において、数倍ないしそれ以上を余儀なくされることになることは、苦い経験から明らかである。海軍の「5 分前の精神」で取組んでゆきたいと、つくづく感じている次第である。

〔財団法人 日本植物調節剤研究協会 理事
日産化学工業株式会社取締役農薬事業部長 早川充〕

目 次 (第17巻第8号)

バイオテクノロジー研究の現状……………2

＜農業技術研究所 小林 仁＞

1. は じ め に……………2
2. ライフサイエンスの発展……………2
3. バイオテクノロジーの台頭……………3
4. 植物の遺伝子操作……………3
5. 細胞・組織培養研究の現状……………4
6. お わ り に……………7

世界の主な国における芝生地の雑草
とその防除の現状(2)……………8

＜宇都宮大学 竹松哲夫・竹内安智＞

6. 日 本……………8
7. 韓 国……………11

中国黒竜江省の農業と農薬

——雑草防除からみて——……………11

＜石原産業株式会社 市橋正幸＞

1. は じ め に……………11
2. 黒竜江省の概況……………12
3. 当地域農業の概況……………12
4. 雑草防除と除草剤……………14
5. お わ り に……………17

エゾサヤヌカグサの生態と防除法……………18

＜北海道農業試験場 村上利男＞

昭和57年度冬作関係(麦類・いぐさ・
水稻刈跡)関係除草剤・生育調節剤
試験成績概要……………22

＜財団法人 日本植物調節剤研究協会＞